

2020年度 マンスリーレポート No. 62

5月1日、業者による復旧作業が夏までかかるため、チームKが新しい教務システムの構築に着手した(連休返上で3日間かかる予定)。喪失していた教務データは復旧できた。医学部長・教務委員長・学生委員長・教務課長がチームKの激励にセンターを訪室した。

5月2日(土)、チームKが作業を続け、教育データを完全復活させ(4月3日～26日)、Moodleのメンテナンスを行い、バージョンアップ(3.6→3.8)して操作性を向上させた。

5月4日(祝)、新型コロナ緊急事態宣言の延長(5月31日まで)が正式決定した。理由は①新規感染者数が多く、感染者の減少が不十分、②医療提供体制がひっ迫している地域がある。福岡県(特定警戒県)は、休業要請と臨時休校の延長(5月末まで)を決定した。

5月6日(祝)、電子シラバス(Moodle)が復旧し、接続可能(5月7日から)になったことを教務課が学生と教職員に通知した。

5月7日、福岡県の休校延長を受け、三役会議で出校停止の延長(5月末まで)が決まり、学生と教職員に通知された。山田が臨床実習(第5学年)のオンライン補習コンテンツ案を教務委員長に提出した。大学病院の手術部が手術患者のPCR検査(術前の陰性確認)の実施を決めた(5月11日に開始)。

5月8日、理事長・学長が「新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みの徹底」を通知した。協同学習(第1学年)では、全体授業を組織実習室から体育館に変更して行う予定であったが、出校停止の延長でZoomによる大人数ライブ授業を試行することになり、柏木と担当者が教育センターで具体的な施行方法を討議した。

5月10日(日)、病院長が大学病院機能回復に向けてCOVID-19感染症災害レベルの変更を検討しており、対策本部会議(5月15日)で引き下げ(Ⅲ→Ⅱ)の予定と通知した。

5月11日、柏木(チームKリーダー)が4か月ぶり(通常は3か月)に散髪して出勤した。チームKのメール交換は3,000件を超えた。教務委員会が開催され、6月1日に対面講義と臨床実習を再開する提案を審議・決定した。その結果、夏季休暇期間を短縮、第1学年は大教室を使用、第2～4学年は2教室に分けて同時配信、第1/2学年と第3/4学年の時間割を60分ずらして昼食時間を分離、科目試験と総合試験は日程を変更、成績不振者対策の第4/5学年の合同学習は中止、第6学年の夏合宿は学内で開催となった。

5月12日、第52回日本医学教育学会大会(7月17日～18日、鹿児島)が中止になった。当センターから応募した演者3題・共演2題は、予稿集の誌上発表とHP公開となった。

5月13日、教授会議がオンラインビデオ形式で開催され、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うシラバスの変更」が審議され、教務委員会案どおりに承認された。

5月14日、出校停止で実施できなかった進級時アンケート(第2学年～第4学年)を6月の授業再開時に行うことにした(教育評価委員会/教育C)。柏木が協同学習のZoomによる大人数ライブ授業(5月15日)のサポートを行った。夜になって、新型コロナ緊急事態宣言の解除(福岡県を含む39県)が決定し、福岡県が休業要請を解除した(5月15日0時)。

5月15日、理事長・学長が「緊急事態宣言と休業要請の解除に伴う本学の対応」を職員に通知し、5月16日から通常勤務体制となった(外出自粛・三密回避・健康管理は継続)。予定どおり大学病院の災害レベルがⅡに下がった(患者面会制限や業者入館禁止は継続)。

5月18日、山田が医師国家試験問題(過去3年分)をExcelに登録し、分類・形式・内容(画像の有無も)・正答率を表記し、学内CBT試験における問題作成の利便性を図った。

5月20日、ICTを活用した医学教育コンテンツの開発(厚労科研費事業河北班)における臨床実習代替教材の無償配布(自治医科大学)を、山田が教務委員長に提案して申請した。

5月21日、柏木が協同学習の大人数ライブ授業(5月16日)のサポートを行った。

5月22日、大学案内が発行され、山田が写真で4か所(裏表紙を含む)に登場した。

5月23日、旭川医科大学の臨床実習オンライン教材について、山田が救命救急センターの平湯医師の説明を受け、本学での導入を検討した。

5月25日、教育主任会議が開催され、教務委員長が授業再開(6月1日～)の実施要項と臨床実習の注意事項を説明し、山田が「非常事態における臨床実習対策：オンライン教育コンテンツ」を解説した。なお、学生は「三密」を避けて過ごし、第1学年～第4学年は教育1号館と図書館、第5学年と第6学年は大学病院とC棟学習室に限定し(病院滞在時間は第5学年が3時間、第6学年が5時間まで)、部活の中断の継続が確認された。大学病院では、宅配業者の出入り制限が解除された。

5月26日、非常事態の臨床実習における大学独自のオンライン教材として、臨床実習のビデオ撮影に関するマニュアルを山田が作成した。

5月28日、OSCE部会長の指示で山田が「非常事態下のOSCE実施体制案」を作成した。

5月29日、出校停止の最終日、安達が行動科学Ⅱ(7回目)、柏木がウイルス学(5回目)のオンライン授業を行った。柏木がK-KAIGI(学内回線だけを使ったWeb会議システム)を試作した(山田が準備している「非常事態下のOSCE実施体制」に導入する予定)。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

5月7日、導尿・筋肉注射 実習 OJT (病棟看護師)

5月7日、救命初期研修医トレーニング (救命医師)

5月7日、導尿・筋肉注射 実習 OJT (病棟看護師)

5月7日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

5月7日、筋肉注射・導尿 実習 OJT (病棟看護師)

5月12日、救命初期研修医トレーニング (救命医師)

5月15日、筋肉注射・導尿 実習 OJT (病棟看護師)

5月15日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

5月15日、気管内吸引実習 OJT (病棟看護師)

5月18日、救急蘇生、気管内挿管、静脈採血、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月19日、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月19日、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月20日、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月20日、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月21日、救命初期研修医トレーニング (救命医師)

5月25日、静脈採血、血管確保、導尿トレーニング (臨床研修医)

5月27日、超音波検査トレーニング (臨床研修医)

5月29日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

5月29日、採血・筋肉注射実習 OJT (病棟看護師)

5月29日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

5月29日、吸引実習 OJT : 11病棟 (看護部)

5月29日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

文責：安達洋祐